

1, 2820 地区ポールハリスフェローが 80 名に

クラブ公式訪問において大野治夫ガバナーの積極的な働きかけにより、当地区の PHS は年度目標の 70 名を遥かに超え、80 名になりました。入会率では日本でトップクラスを維持しております。

大野ガバナーはじめ地区内会員の皆様方の R 財団へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

大野年度の具体的行動目標

ロータリー財団の活用と支援



地区補助金を活用した地域社会への貢献
グローバル補助金を活用した国際社会への貢献
奨学生の支援
ポリオ根絶、コロナ終息活動の推進
公平性の高い財団寄付の推進
ロータリーカードの推進

- ✓ 年次寄付 150 ドル
- ✓ ポリオ 30 ドル
- ✓ ヘネファクター: クラブ 1 名
- ✓ PHF・PHS: 地区 70 名
- ✓ MD・AKS の推進



国際ロータリー第2820地区
ロータリー財団委員会



2, ロータリー研究会

11 月 19 日~22 日に、神戸ポートピアホテルにおいて第 51 回ロータリー研究会が開催され、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長やイアン・ライズリー R 財団管理委員長がご出席の下、国内 34 地区からガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ・パストガバナー・ローターアクターなど総勢約 600 名が参加されました。

2820 地区の DG/GG や災害救援補助金の活用についてイアン・ライズリー R 財団管理委員長や飯村 R 財団コーディネーター第 1 地域、梶原 ARRFC 等と直接話し合う機会を頂きました。



(イアン・ライズリー氏) (緊張の中島 RAC 会員)



ウクライナへの人道支援に関するセッションでは、つくば学園ローターアクトクラブの中島会員が 2820 地区と、2232 地区 Rakhiv ロータリークラブが運営し

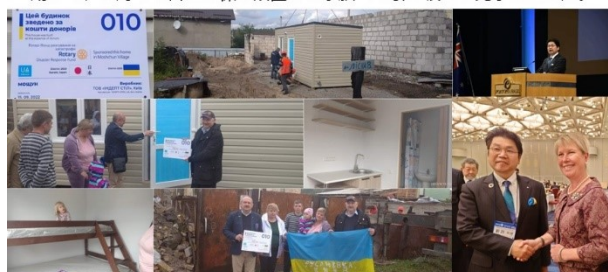
ているボランティアセンターでの生活物資配給について紹介し、なぜ子どもたちへの支援が重要なのかを丁寧に説明しました。菅原 RI 研修リーダーの講評では、ローターアクトとロータリーが協働することで、学術的知見と社会的実践の融合により、プロジェクトの質が高まったと評価されました。

3, 災害救援補助金を活用したウクライナ支援

2820 地区の災害救援補助金 (DR658) を活用した、ムシユン村復興プロジェクト (仮設住宅設置) は、最終的に国内 19 地区、海外約 60 地区が補助金申請し 200 棟が順次設置されています。大野ガバナーは、年度の初日である 7 月 1 日に補助金申請の決断をされました。そして当地区の一早い行動に、国内だけでなく海外からも、昨年度の海岸清掃プロジェクトに参加してくれた多くの地区が災害救援補助金を申請して本プロジェクトに参加してくれました。このプロジェクトに関し、ジェニファー RI 会長やイアン R 財団管理委員長から激励を頂くとともに 2232 地区ウクライナの皆さんから感謝の言葉を頂いたことを報告します。

災害救援補助金

2820 地区はウクライナの復興支援として、ムシユン村モジュールハウスプロジェクト (仮設住宅) に参加し、25,000 ドルの災害救援補助金を活用して、9 月 16 日に 2 棟を設置し 2 家族への引き渡しを完了しました。



国際ロータリー第2820地区
ロータリー財団委員会



17

5, 地区 DDF の状況

2022-2023 年度地区補助金は各クラブへの送金が完了しています。事業が完了したクラブは完了後 1 か月以内に報告書の提出をお願いします。

GG 奨学金 1 件が承認され、水戸 RC 推薦の佐藤ひかる様 (メルボルンカトリック大) に支給されます。

友好地区 3810 地区ジョイスガバナーから依頼の VTT が 1 件あり、実現に向け国際奉仕委員会とともに申請の支援をしています。

国際ロータリー第 2820 地区
ロータリー財団委員会総括委員長
新井和雄